



南極点到達100周年記念企画！ 南緯90度、南極点までの道のり

1911年、その年は南極探検の歴史を振り返る上でまさに南極探検の英雄時代と呼べる年。「人類初の南極点到達」という夢を追い求めて、アムンゼン、スコット、白瀬矗の壮大なドラマが繰り広げられた重要な年でもあります。そして、1911年12月14日、ノルウェーの探検家ロアール・アムンゼンにより人類初の南極点到達が果たされます。時空を超えて、南極点到達100周年を迎える2011年、貴方自身が探検家(?)となって南極点到達を果たす、夢の冒険旅行をお届け致します。

企画担当:太田 綾香

Adventure 1 / チリ最南端の町、プンタアレナスでの日々

南極点到達の旅は、通常の南極旅行(いわゆるクルーズ旅行が一般的)と異なり、南極大陸に約1週間、24時間滞在する大人の冒険旅行。その手付かずの自然環境が残る白い世界での冒険を安心して体験いただくため、その準備はとて大切なことと位置づけられています。そのため南極を目指すための拠点となるチリ最南端の町プンタアレナスで過ごす日々は重要な準備期間として考えられています。



Point ① オリエンテーションに参加！

共に南極大陸を目指すメンバーが終結。南極大陸で過ごすための注意事項、プログラム内容の説明を受けるためのオリエンテーションに参加し、冒険心を高めていきます。



ANIは、1985年より1500名以上のお客様を南極大陸内部に送り出している最も経験豊富な民間ツアーオペレーターです。また実際に500名を超えるお客様の南極点到達の夢をサポートしてきた実績があります。プンタアレナスで開催されるオリエンテーションでは、南極のあらゆる事情に精通したスタッフが分かりやすく映像を交えながら、南極で過ごす1週間を詳細に渡って説明してくれます。



Point ② 南極大陸で過ごすための装備類チェック！

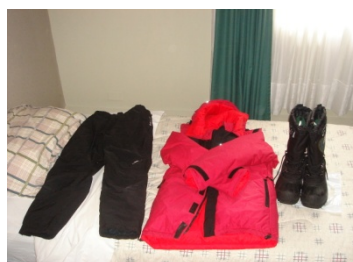
ユニオン・グレイシャー基地の平均気温は、 -5°C ～ -15°C 。

南極のベストシーズン・夏といっても零下の日々が続くため、装備類の事前準備が大切！

約1週間過ごすことになるユニオン・グレイシャー基地は、南極を肌で感じる・自然と一体化となる場所でもあります。つまり、暖房器具は一切ありません。そのため装備類の準備が大切であり、南極経験豊富なスタッフが、その確認のため一人一人の装備類を一点一点チェック致します。また、如何にして快適に南極大陸で過ごすか？が重要なポイントであり、その快適さは装備類の準備にかかっています。そこで日本出発前に「南極で快適に過ごすための持ち物リスト」をお送りし、また個別の自宅説明会等も致しますので、どうぞ、ご安心ください。南極渡航経験が豊富なスタッフ(太田)より詳細に関して、ご説明致します。



【日本で準備した装備類】



【現地で有料レンタルした装備類】



【装備チェックの様子】



南極点到達100周年記念企画！ 南緯90度、南極点までの道のり

2011年の「南極点の旅」ここが違います！！

2010年度のシーズンより従来のパトリオットヒルズ基地以上に好条件が揃うユニオン・グレイシャーにベースキャンプが移転しました。今まで以上に天候リスクに強く、好条件の位置に天然のブルーアイスの滑走路があるため延泊の可能性が例年より低くなっています。



Adventure 2 / いざ、南極大陸へ！

プンタアレナスから南極大陸までは大型ジェット輸送機イリュージンにて空路約4時間30分、南極大陸上にある天然の氷上滑走路ブルーアイスに到着します。このイリュージン機内に関しましても、以前にも増して、快適に変化していますので、新しくご紹介できる嬉しいポイントです。

Point ① 大型ジェット輸送機 イリュージンが冒険心をくすぐる♪

通常の航空機と大きく異なり、各種装置や天井がむき出しの機内は、他では体験できない冒険ポイント！これからの大人の冒険旅行に胸が高まる瞬間でもあります



← 客室乗務員は変わらず、オジサマです。



2007年当時のイリュージン機内の様子。注目ポイントは座席の様子。荷物が中心に大きく居座り、お客様は、壁際に追いやられているのです(笑)

そして今は・・・快適な椅子が備え付けられているため以前の悩み・お尻が痛くなることなくなくなりました♪

Point ② 2010年オープン！新設されたユニオン・グレイシャー基地

以前までのパトリオットヒルズ基地より北西約70km、南緯79度45分、西経83度14分の地点に位置しているのが南極大陸上にある唯一のベースキャンプ、ユニオン・グレイシャー基地。南極の美しい山並み(ロスマン山)に守られた天然の氷の滑走路、ブルーアイス、そして青空、その色のコントラストは本当に美しいものです。そして、南極体感アクティビティもパワーアップ！まさに南極の様々な表情を“体感”できる充実の内容です。



ブルーアイスの滑走路から程近い位置に休憩小屋があります。南極の冷たい空気で冷えた体を温かい紅茶・コーヒーで癒すことができます。



ブルーアイスからユニオン・グレイシャー基地までは、約8kmの距離。そのため特殊な車(?)で約30分、美しい景色をご堪能いただきながら移動します。



南極点到達100周年記念企画！ 南緯90度、南極点までの道のり

Adventure 3 / 南極大陸、ユニオン・グレーシャー基地で過ごす日々

ユニオン・グレーシャー基地は、南極大陸上にある唯一の民間ベースキャンプ。私たちのように南極点までフライトで目指すメンバー、南極大陸最高峰のビンソンマシフ登頂を目指すメンバー、かつての探検家たちのようにスキーで南極点を目指すメンバー、アイスマラソンに挑戦するメンバー、など、それぞれの冒険に備えて滞在する場所です。約80名収容できるベースキャンプは、南極のあらゆる側面に精通したスタッフが私たちの冒険をサポートしてくれるので安心です。また、彼らの冒険談に耳を傾けてみることも素晴らしい経験となることでしょう。



Point ベースキャンプもグレードアップ？

ユ

ユニオン・グレーシャー基地は、パトリオットヒルズ基地とほぼ同じ設備を備えているので安心です。・・・そうは言っても、新設されるからにはグレードアップポイントがあります！約1週間、過ごすことになるベースキャンプでの日々がより快適になるように、そんなスタッフの心意気を感じることができます。

【 ユニオン・グレーシャー基地って、どんなところ？ 】



日々のミーティングや食事をするためのメインテント



今年もいました！全ての権限を持つ紳士なスティーブさん！



南極料理人ギャビンさん。



嬉しいサラダや前菜など、日々新しいメニューを提供



極地経験豊富なドクターが常に待機している医療テント



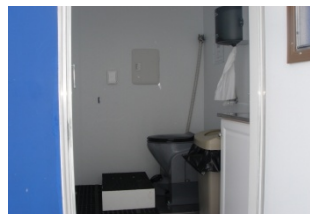
2010年は女性ドクター、ディアグリーさんが、南極点へ一緒に



ベースキャンプの要、通信室。常に最新の気象情報や周りの観測基地の情報入手し、私たちの冒険をサポート！



何よりも嬉しいポイント！お手洗い事情が素晴らしく変化！



ちなみに去年まではテント式のお手洗い。大きな変化ですよ♪



通称グレイウォーターと呼ばれている人が使った水(歯磨きをした後など)を捨てるコンテナ。



通称ライブラリーテントが新設。各種レクチャーが開催されたり、南極関連図書が置いてあります。ゆっくり、くつろぐためのスペースです。



2010年は地質学者のグレッグさんがスタッフの一員に！彼の経験に基づき、写真を多くご覧いただきながらの南極レクチャーをお楽しみいただきました。
※他のお客様がいる手前、同時通訳ができないため、添乗員がレクチャー後に概要を説明します。予め、ご了承くださいませ。



南極点到達100周年記念企画！ 南緯90度、南極点までの道のり

Adventure 4 / 南極体感アクティビティを満喫！

通常の南極半島クルーズでは、1回の上陸が約1時間と制限されているところ、南極大陸自体に宿泊できる最大のメリットがここにあります！！ユニオン・グレイシャー基地に約1週間滞在する間、様々な南極体感アクティビティをご満喫いただくことができますのです。・・・ただし、ここが南極大陸であることは、忘れずに！全てが天候に左右されるという条件は変わらないことをご認識いただければ幸いです。



南極を体感①・・・ピーク942の岩肌がむき出しのポイントで南極大陸を踏みしめる！！



南極を体感②・・・大理石の岩山エレファント・ヘッドの絶景と南極の氷床を堪能！！



南極を体感③・・・チャールズ山を散策し、南極の山並みを堪能♪



サスツルギの赤ちゃん、発見！！



南極を体感④・・・クロスカントリースキーで南極と一体感を感じる経験



南極を体感⑤・・・ベースキャンプの風景を楽しむ！



南極を体感⑥・・・クレパス！



探検家たちの行く手を阻んだクレパス発見！

【ユニオン・グレイシャー基地】

ベースキャンプの近くに山並みが迫ります。空の色合いによって風景も日々変化！

【パトリオットヒルズ基地】



宿泊テントは同じ！



南極点到達100周年記念企画！ 南緯90度、南極点までの道のり

Adventure 5 / 南極探検の歴史100年を振り返り、時空を越えて夢の南極点到達を果たす

ノルウェーの探検家ロアール・アムンゼンが南緯90度南極点に到達したのは、1911年12月14日のこと。その時代は、アムンゼン、スコット、シャクルトン、白瀬が「人類初の南極点到達」という夢を追求めて、南極探検の歴史が最盛期を迎えるころでもあります。南極点到達だけを目指して、その全てをかけたアムンゼン。学術調査を含め多くの目的をもって出発しながら予想外の苦難に直面したスコット。大陸を目前にして氷に閉ざされ、隊員全ての命を優先させたシャクルトン。1912年1月28日には南緯80度5分、西経156度37分まで到達するも、それ以上の前進は叶わず南極点到達を断念した白瀬。その時代を時空を越えて遡り、貴方自身が探検家となって南極点到達を果たす番です！



Point ① DC3バスラー導入で、より南極点まで早く！！

今までのツインオッター機(スキー装着型双発機)と異なり、新しく導入されたDC3バスラーで移動します。機内は今まで以上に広く快適です。南極点にあるアムンゼン・スコット基地時間(ニュージーランド時間を採択)の朝8時に到着するように向かいます。



DC3バスラー ツインオッター機



ここが新しい！

【従来のツインオッター機】

- ①給油休憩が往復1回ずつ、計2回
- ②片道約6時間の飛行時間
- ③機内にトイレがない

【新導入！DC3バスラー】

- ①給油休憩が復路1回に変更
- ②片道約4時間に変更
- ③機内に簡易トイレ設置で安心



Point ② 米国アムンゼン・スコット基地内部の見学

夏期期間中は約250名の隊員が過ごすアムンゼン・スコット基地。研究に従事している隊員より今、何を研究観測しているのか直接話をうかがうことのできる貴重な体験です。



現在残っている建物は、国際極年に合わせて完成したばかりの第3次基地。基地の中央部分を背景に南極条約に最初に調印した国々の国旗がはためくメモリアル・ポールがあります。



←食用プラント研究者の話



ニュートリノ研究のためのアイスキューブプロジェクト



Point ③ 南緯90度・南極点に残す感動体験！！

毎年1月1日にGPSで正確な位置が計測されてるリアル・ポール。まさにこの地点こそ、今から約100年前に探検家たちが夢とロマンを求めて目指した地点です！



南極を示すポールは氷床の上に位置しているため、毎年約10mずれてきます。そのため毎年GPSで正確な位置を図り、新しいデザインのリアル・ポールが設置されます。注目は2011年のデザイン！人類初の南極点到達を記念してのデザインなので今しか見れない特別なものです。



2009年デザイン



2011年デザイン